

塩田町民生委員児童委員協議会だより

つむぐ

第7号

発行 令和7年4月15日
 発行元 塩田町民生委員
 児童委員協議会
 責任者 諸岡 博子
 題字 光武 道子

任期満了と改選に向けて



塩田町民生委員児童委員協議会
会長 諸岡 博子

令和4年12月民生委員児童委員の委嘱を受け2年が過ぎました。民生委員の任期は民生委員法第10条において3年間と定められており、今年12月1日で一斉改選となります。

毎回の改選時には、委員の約半数が交代し、今回も同程度の委員の入れ替わり

が見込まれます。しかし、一人でも多くの方ができる限り長く活動し、地域住民との関係性を保つことができればと思っています。

主任児童委員とは

子どもや子育てに関することを専門に担当する児童委員が主任児童委員です。

民生委員・児童委員とは

地域を見守り、地域住民の立場に立って相談に応じる地域の身近な相談相手です。住民の困難は一人で抱え込まず、行政や専門機関につなぎます。

民生委員・児童委員は地域の一員として住民に寄り添いながらそれぞれの受け持つ地区のことを知り、世帯情報を把握して、何か問題があったときには、行政区长さんとの連携を取りながら活動しています。

「2025問題」（団塊の世代が後期高齢者となり高齢化が進むこと）により発生する社会問題とともに、ヤングケアラーなどの子どもに関する様々な問題が挙げられています。

委員としてより一層一人でも多くの方の話を傾聴し、必要に応じて関係機関へつなぐ活動を強化し、任期を全うしたいと思っています。

今後の課題

これから、民生・児童委員の活動内容や成果を分かりやすくお伝えすることで、住民の皆さまの理解を得、良好な関係づくりにつなげていきたいと考えております。

「塩田町民児協だより」つむぐを年に1回発行し、広報活動を行っておりま

す。また、嬉野市のホームページにも掲載しています。

民生委員、児童委員活動を知らせる

「ひとり暮らし高齢者へのアンケートの集約結果、市長へ提出」

嬉野市民生委員児童委員協議会が令和5年度に市内の75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に生活実態調査を実施しました。

調査の集計結果を受けての当協議会としての意見・要望を次のとおり村上大祐市長へ提出しました。

①日常支援

（高所作業・庭木の手入れは体力に不安がある。日常のごみ捨てはゴミステーションまで遠く、坂道などあり負担に感じる）

②居場所、サロン等の充実

（孤独を感じ不安。高齢者の居場所を近場に増やしてほしい。スマホ・インターネットについていけない）

③移動支援

（車を手放したくても手放せない。シニアカー購入補助希望）

④経済的支援

（物価・光熱費高騰、タクシー代等交通費の負担）



令和6年12月2日 市庁舎にて

本調査結果については、日頃の民生委員・児童委員としての活動に活かすことはもとより、当市においても年々増え続けるひとり暮らし高齢者の現状・課題を把握し、市民の安心・安全な暮らしのため必要な取り組みを講じるようお願いしました。

真剣な子ども達の目

初めての「子ども1日民生委員児童委員」

朝から汗の吹き出る暑い8月7日。嬉野市中央公民館にて「子ども1日民生委員児童委員」を開催しました。各地区より参加された21名の児童一人ひとりが会長から委嘱状を受け取り、民生委員・児童委員の活動について学ぶ動画を視聴しました。

その後、担当民生委員とともに、やや緊張しながらも、笑顔で地区の高齢者宅への訪問に出発しました。いざ訪問すると、児童はしっかりと質問し、訪問先の方も優しくお答えいただき、終始和やかな雰囲気の中で訪問を終えることができました。

初めて高齢者の方とお話し

児童から提出された感想文には「高齢者の方とお話するのは初めてだった」との声が多かったことが印象的でした。

差し迫る「2025年問題」に「深刻化する民生委員不足」等の状況下において、今回の取り組みは民生児童委員活動を広く知ってもらうよい機会であったと思います。

塩田町民児協としては初の取り組みでしたが、多くの児童とその保護者様、また、訪問先の方々には快くご承諾いただき、活動に参加いただいたことに感謝いたします。

(水川光薫 塩田原町)



頼もしい児童の表情がありました



委嘱状授与式

介護保険利用の相談が

初めて早2年。当初は定例会で先



鬼橋 隆洋
(鳥越、山口、殿ノ木庭)

お話しで笑顔が

民生委員を引き受けてから2年が過ぎ、委員として不安が先にたつて月々の定例会も不安でした。高齢者の方を見守り、散歩中に声掛けたり、雑談話で笑顔になります。子ども達の登校、下校の時も声掛けると元気な声で挨拶してくれるし私も元氣になります。地域の方と連携を取り見守って行きたいと思っています。私の小さな繰り返しの行動で頑張っていきたいと思っています。



光武 道子
(のぞえ)

ご苦労様の声

会社勤めをしながら区長を務め上げ、その後勤務していた会社を退職し、好きな趣味をしながら毎日を過ごそうと考えていました。そんな時、他に成り手がいないとのお話を受け、部落にお世話になっている身ですので、お引き受けることとなり、2年が過ぎました。大変なこともあります。嬉しいこともあ



大久保 務
(下重、新村、三ヶ崎)

輩委員さんから高齢者Aさん宅の見守り活動について、注意点等のご指導を受けて何とか始められました。半年が経過した頃に担当地区の方から介護保険を利用したいと初めて相談を受けた際もどうしたいのかも分からず、すぐに関係機関に連絡・対応してもらったこともありましたが、まだまだ勉強不足ではありますが、まだまだ地域の皆様のよき相談相手となり、必要な支援ができればと思います。

敬老会で楽しく会話

民生委員児童委員を引き受けて、あっという間に2年が過ぎました。前任者から、3年間はすぐ過ぎるから大丈夫だと言われ、なすがままに、毎月の定例会、研修会、ボランティア活動に出来る範囲で参加しました。地区の見回り、高齢者宅の訪問、その中でコロナで、行事ができなかった地区の敬老会が開催され、皆様と日頃聞かなかった事も楽しく会話ができました。私自身とても嬉しかったです。今後もう少しでもお手伝いができればと思います。



西 達
(南、美野辺田)

ります。真夏に高齢者のご自宅を訪問した時には、暑いのにご苦労様と、冷たいジュースを頂いたり、色んなお話を聞くことも出来ます。訪問する度に、天国に居る両親を思い出し、残りの任期を頑張りたいと思います。

民生委員としてのやりがい・良かったこと



気軽に話し合えるよう

民生委員活動して2年間で振り返り。
毎朝、登校児童の見守り、声



香月 いわえ
(谷、熊野)

貴重なお話を聞く

民生委員をお引き受けしたご縁で、今まで親しくお付き合いする事がなかった高齢の方々から貴重なお話を聞かせて頂きます。その上、訪問を喜んで頂けると民生委員をお引き受けしてよかったなあと思います。まだまだわからない事は多いのですが、先輩民生委員の方から助言を頂いたり、地区の方にご協力をお願いしながら、微力ではありますが少しでも地区のお役にたてるように活動を続けてまいります。



高井 清子
(北下久間)

毎日が楽しいヨ

民生児童委員になり、2年が過ぎました。何もわからず、不安だらけで引き受けた民生委員でした。毎月の独居老人宅への訪問をはじめ様々なボランティア活動にも参加させていただきました。8月2日には「子ども一日民生委員」という活動で、児童に参加してもらい高齢者宅へ一緒に伺い、色々なお話をして一時間程、過ごしました。最後の質問で「最近楽しかった事は？」と児童が聞くと「毎日が



眞嶋 民代
(北志田)

かけ。元気に登校していく子供たちに元気をもらい、高齢者一人暮らしの方への訪問、自宅介護されている方への声かけ訪問、地域祭りの参加、地域の方々とアイデアを出し合って手作りのゲームなど作って楽しく活動しています。困り事の相談を受けた時は区長さんに伝え対応して頂き、民生委員として地域の方々と気軽に話し合えて繋ぐ「ひとこま」でありたいと思います。

「坂井さん、あのね」

何もわからず引き受け、2年になります。地区のことは主人まかせ地域の人のこともわからずどこにだれがいて家族は(?)から始まり戸惑うことばかりでしたが、たずねていく内に地区の昔話などしていただく様に、子ども達は知り合うチャンスと思い一緒に歩き「坂井さん」「あのね」って話してもらっています。毎朝の楽しみになっています。問題が起これば包括支援センターへ連絡相談をし、つなげていきます。後一年やって良かったと思える様活動していきたいと思っています。



坂井 政枝
(西山)

楽しいヨ!」との返事。97才の独居老人の方が、前向きで毎日明るく過ごされている姿を見て、こちらが励まされるようで勉強になりました。微力ではありますが、少しでも力になれるように見守り、行政と地域の皆様の「つなぎ役」として活動を続けていきたいと思っています。

「来てくれたね」の声

民生児童委員になり2年がたとうとしています。
初めての訪問の時は民生委員



松尾 和敏
(宮ノ元、畦川内)

民生児童委員として、地区を回るようになり、一人暮らしの方とも少しずつ顔見知りになりました。健康に気をつけて、自分のことは自分で暮らしておられる姿に元気をもらいます。済昭園のボランティア活動では、母がお世話になっていたことを思い出しながらシート交換をさせてもらい、週に1回のあいさつ運動では、子どもたちの姿にほっとさせられます。みなさんの笑顔に出会えるように活動していきたいと思っています。

高齢者に元気をもらおう



瀬頭 敬子
(五町田第3、4、5)

の服、カードを見せても用心されているようで会話も単調に終わっていたのが今は顔と名前を覚えてもらい「来てくれたね」と相手の方から話してもらいようになり、生活面の事、体の事、昔話までしてもらいようになりました。気軽に相談してもらえようコミュニケーションを取りながらパイプ役として訪問活動を続けていこうと思います。

どの家もきれいにされて

区長さんから民生委員の依頼を受けた時、私に出来るだろうかと不安で一杯でした。高齢者・独居の方を訪問するとどの家もきれいに片付いていて花を生けたりしておられ感心します。又喜んで人生経験とか話して下さいますので良く聞く様にしています。頑張つて来られたんだなあと思います。幼稚園・小学校・研修会・定例会など勉強になる事ばかりです。今では民生委員を引き受けて良かったと思います。残り一年活動に務めたいと思います。



宮崎 幸代
(大草野辺田、五代、長谷)

令和5年度 委員活動状況

		塩田町	嬉野町	嬉野市全体
項目		30人	44人	74人
内容別相談・支援件数	在宅福祉	228	49	277
	介護保険	13	22	35
	健康・保健医療	10	84	94
	子育て・母子保健	5	15	20
	子供の地域生活	859	44	903
	子どもの教育・学校生活	156	68	224
	生活費	0	22	22
	年金・保険	0	3	3
	仕事	6	3	9
	家族関係	8	25	33
	住居	3	10	13
	生活環境	22	38	60
	日常的な支援	414	152	566
	その他	415	421	836
	計	2,139	956	3,095
分野別相談・支援件数	高齢者に関すること	517	466	983
	障害者に関すること	57	57	114
	子どもに関すること	1,186	151	1,337
	その他	379	282	661
	計	2,139	956	3,095
その他の活動件数	調査・実態把握	387	435	822
	行事・事業・会議への参加協力	724	707	1,431
	地域福祉活動・自主活動	1,875	888	2,763
	民児協運営・研修	596	609	1,205
	証明（調査・確認等）事務	72	231	303
	要保護児童の発見の通告・仲介	3	12	15
訪問回数	訪問・連絡活動	2,556	5,458	8,014
	その他	661	1,683	2,344
連絡回数	委員相互	758	762	1,520
	その他の関係機関	290	939	1,229
活動日数		4,762	5,712	10,474

こども達一人ひとりが夢を持てる社会へ



主任児童委員
中島 恵美子

小学校の卒業式で6年生が将来の夢を発表してくれます。

その夢はある出来事が転機となり、新しい夢に変わることもあるでしょう。（全ての成功の始まりは『夢』を持つことから）

規律はきちんと教えた上で、子ども達にやりたいことが思い切ってできる環境を整えてあげたら、楽しくやる気も生まれ個性も伸ばすことが出来るのではないのでしょうか。この先、AIの進歩等で想像もできないくらい大きく社会が変わります。

個性を伸ばし、自分の人生を自分の力でしっかり生き抜ける大人に育ててほしいと思います。

新聞の「佐賀県内小中高生は2.2%がヤングケアラー」という記事が目に入りました。こどもの生活実態調査に初めてヤングケアラーに関する項目が追加され、大人に代わり日常的に病気や障害のある家族の介護や家事を担っていて、身体的、精神的にきつさを感じたり、時間的余裕がなかったりするこどもが2.2%いることが分かりました。こどもが学び、育つ権利が奪われているヤングケアラーに支援が届くよう社会全体の意識を高め、未来を担うこどもたちみんなが健やかに成長し、夢を持てる社会になってほしいものです。

令和6年度 主な活動

登下校の見守り・あいさつ運動

ひとり暮らし高齢者等訪問

済昭園シーツ交換ボランティア

塩田町民児協広報誌「つむぐ」発行

「民生委員・児童委員の日」美化・広報活動

「子ども一日民生委員・児童委員」委嘱活動

町内小学校・保育所訪問

たちばな会収穫祭への参加・ボランティア

地区敬老会への参加

視察研修(大村市 大村パールハイム)

救急医療情報キットの配布・内容更新確認

各種学習会・研修会の開催及び参加



「民生委員・児童委員の日」
環境美化活動(5月)



大村パールハイムへの視察
(12月)

編集後記

今年12月1日改選を迎え、初任の委員の方々に「民生委員になってよかったこと、嬉しかったこと」を書いていただきました。皆さん、最初は不安ながらも、住民との交流を通じて、自分も元気をもらい、生き生きと活動されている様子が伝わってきました。

今期、「子ども一日民生委員児童委員」を初めて開催しました。あまり高齢者と暮す経験のない子どもたちですが、しっかりと質問し、民生委員の役割を理解していたようです。

「つむぐ」(第6号)で取り上げた「ひとり暮らし高齢者の実態調査」で聞かせていただいた困りごとなどの集約結果を市長へ提出しました。今後も実現に向けて注視して行きます。

しかしながら、行政に頼るものには時間がかります(笑)。そこで、自分の暮す地域のことには誰に聞かれてもあらかた答えられるようになれば、うんと住みやすくなるのではないかと思います。これは、区長など役職に関係なく、できることです。

そのためには、地域へ「助け合い」のアンテナを張り巡らし、感度を上げるのだと思います。例えば救急車の音を聞けば「えっ、何処？誰？」と関心を持ち、ご本人やご家族のこれからに思いを巡らすことです。

皆さん、民生委員と一緒に自分たちの地域を「安心・安全」にしませんか。いつ起こるかわからない災害時などではこの絆が必ず役立つと私は信じています。

(江口佐美子)